



## 今月のテーマは・・・「土砂災害～過去の出来事から学ぶ～」

### 【雲仙普賢岳噴火災害とは】

近年大雨による風水害がクローズアップされることが多い。長崎県の話で29年前の出来事となるので、近年の熊本県の高校生にはあまり知らない話かもしれないが、火山活動と関連した梅雨の時期の土砂災害も考えていかなばならない。

1991年(平成3年)6月3日16時8分頃、長崎県の島原半島にある雲仙岳(普賢岳)で大規模な火砕流が発生し、43人が死亡・行方不明となった。前年の1990年(平成2年)から198年ぶりに始まった噴火活動が、この年、活発化し、5月には地獄跡火口に溶岩ドームが形成され、この溶岩ドームの崩落による火砕流や噴火後の降雨により土石流・泥流が頻発していた。

1996年(平成8年)6月3日の終息宣言までに計44人が犠牲になり、建物被害は2511棟、被害総額は2299億円に及んだ。噴火で形成された溶岩ドームはパイパイドーム(福岡市)約53杯分の1億立方メートルと推定され、今なお崩壊の恐れがある。

なお、この災害では、避難勧告区域内にいた消防団員や報道関係者、研究者らが多数犠牲となり、火山活動の情報提供にも課題を残した。

↓火砕流発生時の様子



↓雲仙普賢岳火砕流・土石流発生後の上空写真



### 噴火に伴う主な現象



## 【感染症禍における自然災害時の避難の注意点】

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、  
災害時には、**危険な場所にいる人は  
避難することが原則**です。

## 知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。  
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。  
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。  
できるだけ自ら携行して下さい。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が  
変更・増設されている可能性があります。  
災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。  
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

内閣府（防災担当）・消防庁



### ●大雨、台風、風水害、土砂災害時の熊本県の防災情報

QRコードを読み込んでいざという時に確認できるようにしておこう。

「熊本県防災型統合システム」→

### ●過去の湧心館高校の「ぼうさい通信」

本校のHPにアクセスしてみよう。

HP <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>ぼうさい通信(毎月16日発行)

